



Tomoyuki Nagai
awyer

たかさき法律事務所

なが い とも ゆ き
弁護士 長井 友之

プロフィール

昭和31年高崎市生まれ。中央大学法学部卒。
関心事は、群馬最強の弁護士集団を組織すること。

経営者の不安を解消する “参謀”として、企業を護る

経営者の
“戦友”でありたい

県内最大級の総合法律事務所を運営する。所属弁護士は7名、近々9名に増える予定だ。群馬で法律事務所の現代的な“共同化”に踏み切ったバイオニアである。「複雑化する企業法務に対応するために、各種分野のプロをそろえ組織化することを目指してきた。企業の抱える問題は多様化し、総合的な解決能力が必要」と話す。顧客の8割は中小企業である。

「訴訟になると金銭、時間、労力、あらゆる面で莫大なコストを費やす。ここ数年は如何に訴訟案件を少なくするか、予防法務、ということに心を砕いている。肺炎になる前に“鼻カゼ”程度で止めておくため、智慧を貸したい、というのがモットーである」と話す。

数10社にのぼる企業から顧問を依頼され、地元企業に貢献している。長井氏自身が経営者でもあるため、企業経営者の気持ちには深く共感できる。「自分が“弁護士”だということはあまり重視し

「戦友”でありたい」と心がけている。興味は、仏像を見て歩くこと。5年前に父親を亡くしてから仏教に興味を持った。弁護士引退後の第2の人生は僧侶になりたいと本気で考えている。それと、犬と遊ぶこと。愛犬4匹を連れての自転車散歩は「なかなか技術がいる」と笑う。どちらも仕事のストレスを解消してくれる貴重な存在だ。

「『こんな小さなことを相談してもいいのか』などと考えてはいけない。『これは法律と関係ないのでは?』と素人判断を行うのは、最も良くない。法律問題かどうかを判断すること自体、法律知識が必要なのだ。悩んだら、迷わず、プロに相談を」と呼びかける。40代までは裁判の腕を磨くことに熱中し、「不敗神話」に自惚れていた時期もあったが、最近は大切なのは勝敗予測の正確性だという。勝つ見込みが低い事件は無益な訴訟に持ち込まない。その見極めこそが、弁護士の力量だと言いつける。依頼者の訴訟リスクを如何に軽減・解消するかが、自分の使命だと肝に銘じている。



調和のとれた落ち着いた色合いでまとめられた相談室

相談に遠慮はいらない

中小企業を取り巻く環境は、あ

DATA

所属事務所

たかさき法律事務所

TEL.027-325-9123

群馬県高崎市請地町11-6

FAX.027-325-4101

URL <http://www.takasaki-law.gr.jp>

Email nagai@takasaki-law.gr.jp

受付時間/9時~17時30分(休/土・日・祝日)

最寄り駅/高崎駅

主な取扱い分野

契約に潜むリスクの分析・回避

経営権紛争に関する対策

事業承継と相続対策全般

労働紛争、労務管理、労組対応

事業再生(特に金融機関対策)

その他、企業法務全般



趣のあるすっきりした外観

